

授業科目	* 栄養教育論実習 I (A クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT22103J		
開講年次	3 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	田路 千尋							
授業概要	管理栄養士は、全てのライフステージ、ライフスタイル、健康状態の人々を対象に、自ら健康管理ができるよう栄養教育を行う必要がある。本実習では、栄養教育論 I・II で学んだ知識・理論を基に、幼児期、学童期、成人期、高齢期における栄養教育の模擬指導を行い、計画、実施、評価を通して栄養教育マネジメントを学修する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者の栄養・健康に関する課題を抽出することができる。</li> <li>2. 対象者の栄養・健康に関する課題を改善するための栄養教育計画を作成することができる。</li> <li>3. 対象者に応じた栄養教育を実施し、コミュニケーション・プレゼンテーションスキルを習得する。</li> <li>4. 実施した栄養教育に対して意見交換を行い、評価することができる。</li> <li>5. 自己の栄養教育に対する評価及び他者の栄養教育を次への改善に活かすことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	70	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	0			15	5	5	10	
知識・理解 (DP1-2)	0						20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	0			15	5		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	0			15			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				15			5	
態度 (DP4-2)					5		25	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	0			10	5	5	10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル1～3の全てを達成したうえで、本実習以外の対象についても応用することができる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者の栄養・健康に関する課題を抽出することができる。</li> <li>2. 対象者の栄養・健康に関する課題を改善するための栄養教育計画を作成することができる。</li> <li>3. 対象者に応じた栄養教育を実施し、コミュニケーション・プレゼンテーションスキルを習得する。</li> <li>4. 実施した教育に対して意見交換を行い、評価することができる。</li> <li>5. 自己の栄養教育に対する評価及び他者の栄養教育を次への改善に活かすことができる。</li> </ol>				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:実習ガイダンス、栄養教育アセスメント 栄養教育論Ⅰで習得した栄養教育マネジメントについて解説し、本授業の進め方について説明する。 各自の食事記録表から問題点を抽出する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:食事記録から得られる情報(基準量、摂取量、バランスなど)を整理する。	30 60
2	テーマ:栄養教育アセスメント 食事記録から得られた情報を分析し、目標設定する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:栄養教育アセスメントについてまとめる。	30 60
3	テーマ:栄養教育計画 プログラム、栄養教育計画案の記入要領、教材・媒体について解説し、3色食品群、6つの基礎食品、食事バランスガイド、健康な食事、食育ガイド等について学ぶ。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:食事記録から栄養教育の内容を検討する。	30 60
4	テーマ:栄養教育計画 アセスメントから得られた課題について、教育指導計画案を作成する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:教育指導計画案について整理し、まとめる。	30 60
5	テーマ:栄養教育評価 作成した教育指導計画案を発表し、意見交換をして、評価する。評価で得られた事項を取り入れ改善案を作成する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:教育指導計画案について整理し、理解する。	30 60
6	テーマ:対象別集団栄養教育のアセスメント 既存の情報から対象集団の情報を収集し、プリシード・プロシードモデルを用いて問題点を抽出し、目標設定する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:プリシード・プロシードモデルについて整理し、理解する。	30 60
7	テーマ:対象別集団栄養教育計画 抽出した課題を解決するための栄養教育計画内容を検討し、教育指導計画案を作成する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:教育指導計画案について整理し、まとめる。	30 60
8	テーマ:対象別集団栄養教育計画 教育指導計画案に基づき、教材・媒体を選択し作成する。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:教材・媒体について整理し、まとめる。	30 60
9	テーマ:対象別集団栄養教育計画 教育指導計画案に基づき、教材・媒体を作成する。 (栄養教育実施者を決定する)	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:教材・媒体について整理し、まとめる。	30 60
10	テーマ:対象別集団栄養教育計画 シナリオを作成しリハーサルを行い改善点を見つける。	講義・実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:テーマの復習をし、まとめる。	30 60
11	テーマ:対象別集団栄養教育の実施 幼児期の栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:テーマの復習をし、まとめる。	30 60

12	テーマ:対象別集団栄養教育の実施 学童期の栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:テーマの復習をし、まとめる。	30 60
13	テーマ:対象別集団栄養教育の実施 成人期の栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:テーマの復習をし、まとめる。	30 60
14	テーマ:対象別集団栄養教育の実施 高齢期の栄養教育を実施する。	実習	予習:テーマの予習をし、まとめる。 復習:テーマの復習をし、まとめる。	30 60
15	テーマ:対象別集団栄養教育の評価・改善 実施した栄養教育の自己評価を行い、他者評価を取り入れ教育指導計画案を改善する。	講義・実習	復習:これまでの授業全体を復習する。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、栄養カウンセリング論を復習し、理解したうえで授業に臨む姿勢が必要です。			
テキスト	丸山千鶴子他編:「栄養教育論」(南江堂)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:中村丁次・田中延子編:「食育指導ガイドブック」(丸善株式会社) 株式会社食生活プランニング編:「食べもの・食育図鑑」(群羊社) 「食生活」編集部編:「子供の食育～栄養指導と食事管理のすすめ方～」(株式会社カザン) 木村友子・西堀すき江編:「事例で学ぶ食育と健康」(建帛社) 大阪府栄養教職員研究会編:「おもしろ食育教材」(健学社) 「食生活」編集部編:「高齢者の栄養指導 理論と実践 高血圧予防と食事介護まで」(株式会社カ)			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養教育は、科学的根拠に基づいたデータや媒体を理解して計画に取り入れ実施します。図書館やインターネットで調べ、情報を確認することを学びましょう。また、栄養教育論 I で学んだ、栄養教育を実施するために必要な知識・技術について復習し、どのように支援すれば対象者の行動が変わるか考えましょう。
達成度評価に関するコメント	試験の内容については、授業の中で指示する。